

## 国語科学習指導案

- 1 日 時 平成 28 年 9 月 7 日 (水) 第 5 校時
- 2 学 年 第 2 学年 1 組 男子 11 名 女子 16 名
- 3 単元名 絵を見てお話を作ろう
- 4 単元について

### (1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領国語の第 1 学年及び第 2 学年「B 書くこと」の指導事項「ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。」を受けて設定したものである。

本単元は、絵から場面の様子を想像し、一つ一つの場面がつながるように物語を作っていくものである。「はじめ」「中」「おわり」の構成を考えながら、場面と場面とがつながるように物語を書く力を身につけることをねらいとしている。教科書には、3 枚の絵と場面の簡単な紹介文がかかれてある。絵の中には複数の人物が登場し、会話文を中心に場面と場面とがつながるように物語を作っていく。簡単な場面設定がされていることや、複数の登場人物により会話文を考えやすくなっていることで、楽しみながら三構成を意識したつながりのある物語を書く力を育成できると考える。

### (2) 児童観

本学級の児童は、これまでに「じゅんじょよく書こう」で、「はじめ」「中」「おわり」の文章構成を考え、自分の経験を伝える文章を書く学習をしてきている。そして、文章を書く際には、順序を表す言葉を用いて文と文とをつないで書くことも学習してきている。文章構成に関しては、分かりやすい文章を書くために、まず、「はじめ」「中」「おわり」の形でメモに表した。次に、そのメモを生かして順序に気をつけながら文章にした。学習の中で 96% の児童がメモに表すことができたが、文章には 78% の児童しか書き表すことができなかった。文章構成を理解できず、「はじめ」「中」「おわり」がつながった文章を書くことができない児童や、それぞれの段落に何を書いたらよいか分からない児童、メモの段階から書くこと自体が思い浮かばない児童など、実態は様々で具体的支援が必要である。

また、文章の創作に関する学習は、昔話を基にして、人物と出来事を考えて簡単な文章に書くことを 1 年生の段階で経験している。しかし、物語の場面を想像して一つ一つの場面がつながるように書く学習は今回が初めてである。

### (3) 指導観

指導にあたっては、物語における「はじめ」「中」「おわり」の構成を捉え、場面と場面とがつながった文章を書けるようにしたい。そのために、以下の点に留意して指導を行いたい。

一つ目は、絵だけを見せ、そこから読み取れることを整理していく。「はじめ」や「おわり」はどのような場面だと想像できるか、絵の違いや登場人物の表情に着目させながら物語の展開を確認していくようにする。そして、後で「中」の絵に戻り、「はじめ」や「おわり」につながるような物語を想像させる。このような段階を踏むことで、各場面の展開をしっかりと想像させ、想像したことを基に場面と場面とがつながった文章を書きやすくさせたい。

二つ目は、場面と場面とがつながる物語を書くために、いきなり文章を書くのではなく、登場

人物の会話文を作成させる。会話には必ずその根拠となるものがあり、今回の学習では、各場面の絵や紹介文がそれにあたる。絵を見て想像したことや場面の簡単な紹介文を基にして会話文を作成することで、物語の展開が自然と決まり、会話文を中心に据えたつながりのある物語ができる。前述のとおり、本学級には文章を書くことを苦手とする児童が多くいる。会話文作成はメモの作成と同じであり、文章を書く上で必要不可欠である。よって、この活動を大切にしていきたい。

三つ目は、それぞれの場面や、場面の中の小さな出来事をつなぐ際の手立てとして、それらのつながりに合った接続表現を意識して用いるようにさせたい。既習の順序を表す言葉だけを用いるのではなく、物語によく登場する接続表現を教科書の物語文から探させ、掲示することで、それらの表現も意識して用いることができるようにしたい。つながりに合った接続表現を用いることで次の展開が決まってきて、文章が書きやすくなる。また、豊かな表現へとつなげることもできる。今回は物語を書くときだけでなく、それ以上に書き終わった後の推敲を大切にしたい。推敲の際に推敲チェックシートを活用し、確認していく。友だちと推敲し合うことを通して適切な接続表現に気づかせ、つながりのある物語になるようにしていきたい。

#### (4) N I E 活用の意図

本単元の導入として、物語作りのあらましを理解させるために新聞の4コマ漫画を活用する。新聞の4コマ漫画には、子どもでも分かりやすいストーリー展開のものが多くある。教科書に出てくるような文章はないが、文章に頼ることなく絵をじっくり見て漫画の内容を想像したり理解したりするには適していると考えられる。また、前後の漫画とつながるように想像したことを会話文の形で表現し、友だちと交流し互いの考えを認め合う中で、絵から想像して物語を作ることへの楽しみや、学習の見通しをもち、主体的に学習に取り組む意欲へとつなげていけるのではないかと考え、N I Eを活用することとした。

### 5 単元の目標

絵から想像したことを基に、意欲をもって物語を書こうとする。

【国語への関心・意欲・態度】

絵から場面の様子を想像し、文と文との続き方に気をつけて、一つ一つの場面がつながるように物語を書くことができる。

【B書くこと ウ】

句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解し、文章の中で正しく使うことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（1）イ（オ）】

### 6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
【単元を貫く言語活動】絵から想像を広げて、場面と場面とがつながるように物語を書く。		
絵から想像したことを基にして、物語を書こうとしている。	場面の様子がよく分かるように、人物の行動や会話のつながりを考えて書いている。	句読点の打ち方や、かぎ（「 」）の使い方を理解して、文章の中で使っている。

## 7 本単元において育成しようとする資質能力

- 【知識】 句読点の打ち方や、かぎ（「 」）の使い方
- 【スキル】 「はじめ」「中」「おわり」の構成を考えながら、場面と場面とがつながるように物語を書く力
- 【意欲・態度】 絵や4コマ漫画から想像したことを基に、会話文を考えたり物語を作ったりしようとするチャレンジ精神
- 【価値観・倫理感】 友だちの意見を聞き、受け入れる共感力
- 【NIE】 4コマ漫画の内容を想像したり理解したりする力  
4コマ漫画から想像したことを交流し、互いの良いところを見つける力

## 8 指導と評価の計画（全8時間）

次	時	学習内容	評価				
			関・意・態	書く	言語	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	1	<b>課題の設定</b> <b>情報の収集</b> 物語作りのあらましを知り、 学習課題をもつ。 (本時) NIE	○			学習の課題と物語作りのあらましが分かり、物語作りに対して意欲をもっている。 (行動観察・ワークシート)	絵や4コマ漫画から想像したことを基に、会話文を考えたり物語を作ったりしようとするチャレンジ精神 (行動観察・ワークシート) 4コマ漫画の内容を想像したり理解したりする力 (行動観察) 4コマ漫画から想像したことを交流し、互いの良いところを見つける力 (行動観察)
二	2 3	「はじめ」と「おわり」の場面につながるように、「中」の場面の物語を書く。		○		教科書の絵につながるように必要な事柄を考え、「中」の場面の物語を書いている。 (ワークシート)	「はじめ」「中」「おわり」の構成を考えながら、場面と場面とがつながるように物語を書く力 (ワークシート)

	4	<b>整理・分析</b> 3枚の絵から物語の組み立てを考える。		○	3枚の絵から想像を広げ、場面と場面とがつながるように話の組み立てを考え、メモに書いている。 (ワークシート)	場面と場面とがつながるように、「はじめ」「中」「おわり」の構成を考える力 (ワークシート)
	5 6	<b>まとめ・創造・表現</b> 場面と場面とがつながるように、物語を書く。 物語に合う題名を考える。		○	場面と場面とがつながるように物語を書いている。 (ワークシート)	「はじめ」「中」「おわり」の構成を考えながら、場面と場面とがつながるように物語を書く力 (ワークシート)
	7	<b>整理・分析</b> 作った物語を読み返して、正しく書き直す。		○	書いた物語を読み返し、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方に気をつけながら推敲している。 (ワークシート・推敲チェックシート)	句読点の打ち方や、かぎ(「」)の使い方 (ワークシート・推敲チェックシート) 友だちの意見を聞き、受け入れる共感力 (行動観察)
三	8	<b>まとめ・創造・表現</b> 書いた物語を友だちと交流する。 <b>ふりかえり</b> 単元の学習を振り返る。		○	書いた物語を読み合い、人物の行動や会話、場面ごとのつながりを確かめている。 (行動観察・ノート)	

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

物語作りのあらましを知り、物語作りに対して意欲をもつことができる。

【国語への関心・意欲・態度】

### (2) 観点別評価規準

#### ◎関心・意欲・態度

学習の課題と物語作りのあらましが分かり、物語作りに対して意欲をもっている。

### (3) 準備物

ワークシート、新聞記事(4コマ漫画)

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点 (・) ◆配慮を要する児童への支援	評価規準 教科の指導事項(○) 資質・能力(★) (評価方法) 【NIEで育む力】
導入	<p><b>考える</b></p> <p>1 4コマ漫画を見て分かることを出し合う。</p> <p>2 お話作りを知り、本時のめあてを確認する。</p>	<p>・「時」「場所」「人物」「行動」など、見て分かることを自由に出させる。</p> <p>『オチビサンのやってみよう ～夏～「花火を知ろう」』H28.7.20 朝日小学生新聞</p>	
四コマまんがを つかって お話を 作ろう。			
展開	<p><b>深める</b></p> <p>3 4コマ漫画から想像したことを基に、会話文を考える。 〔個人〕</p> <p>4 考えた会話文を発表し合う。 〔全体〕</p> <p>5 考えた会話文を用いて、簡単なお話を作る。 〔グループ〕</p> <p>6 考えたお話を発表し合う。 〔全体〕</p>	<p>・4コマ漫画の大枠を全体で確認し、前後がつながるような会話文にするよう声かけを行う。</p> <p>・2種類の4コマ漫画を提示し、空欄になっている箇所の会話文をそれぞれ考えるようにする。</p> <p>◆会話文が思い浮かばない児童には、複数の例を提示し選ぶようにさせる。</p> <p>・聞くときには、前後がつながる会話文になっているか確認しながら聞くよう声かけを行う。</p> <p>・先ほど考えた2種類の4コマ漫画のうち、共通の1種類を使い、グループで簡単なお話を作るようにする。</p> <p>・お話を作るとは、会話文をはさむように前後に短い文章を付けたすことでよいことを説明する。</p> <p>◆前後の文章が思い浮かばないグループには、場面の絵を見て、お話の流れを再度確認するようにする。</p>	<p>【表現力】</p> <p>4コマ漫画の内容を想像したり理解したりする力 (行動観察)</p> <p>★絵や4コマ漫画から想像したことを基に、会話文を考えたり物語を作ったりしようとするチャレンジ精神 (行動観察・ワークシート)</p> <p>【表現力】</p> <p>4コマ漫画から想像したことを交流し、互いの良いところを見つける力 (行動観察)</p>

まとめ	<b>まとめ</b> 7 単元の学習計画を立てる。  8 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成を考えながら場面と場面とがつながるように物語を作っていくことを確認し、学習計画を立てる。</li> <li>作った物語を誰に見せたいかを発表させ、相手意識をもって学習に取り組ませるきっかけを作る。</li> </ul>	○学習の課題と物語作りのあらましが分かり、物語作りに対して意欲をもっている。 (行動観察・ワークシート)
	児童のまとめ例 <ul style="list-style-type: none"> <li>絵を見て、絵に合うように会話文を作ることができた。</li> <li>絵と絵がつながるようにお話を作ることができた。</li> <li>友だちの考えた会話文が、自分の会話文とちがっていておもしろかった。</li> </ul>		
	<b>見通す</b> 9 今後の学習の見通しをもつ。	・今後の学習では、「はじめ」「中」「おわり」を意識して物語を作っていくことを伝える。	

(5) 板書計画

ふりかえり

- 絵に合うように会話文を作ることができた。
- 絵と絵がつながるようにお話を作ることができた。

〈学しゅうけいかく〉

- ① 「はじめ」「中」「おわり」を考えながら、お話を作ろう。
- ② 作ったお話を読んで、正しく書きなおそう。
- ③ できあがったお話を、みんなで読み合おう。
- ④ できあがったお話を、○○○にプレゼントしよう。

めあて

四コマまんがをつかって お話を 作ろう。

・またくるね。  
・ひまわりきれいだったね。  
・たくさんたねを作ってね。

・えー、数えるの。  
・ぜんぶ数えられないよ。  
・よく数えるね…。  
・やめようよ。